IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧													JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
1	Title	タイトル	dc:title		TRUE	M	1-N	コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入する。タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	タイトル情報が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのdc:titleの出現回数は1回までとする。 優先度の高い言語表記の順に記入する。目次タイトル、奥付タイトル等がある場合は、dcterms:alternative（その他のタイトル）に記入する。コンテンツが図書の一部（章など）である場合、dc:title（タイトル）には章などのタイトルを記入し、図書全体のタイトルはjpcoar:relation（関連）に記入する。ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"とし、片仮名で記入する。また、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">ジョウホウ バクハツ ジダイ ノ ケンキュウ キバン コウソウ</dc:title> <dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> <dc:title xml:lang="zh-cn">“如果”句的反事实表达浅析</dc:title>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <dc:title>情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> 複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:title xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle（収録物名）を使用する。 <dc:title xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dc:title> 同一言語指定の要素を繰り返してはならない。 <dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> <dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>		dc:title			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）	①要素がない。 ②xml:langが重複している。（xml:langがない場合も含む） ③xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。	①xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	①xml:lang が存在しない。 ②1つ目のデータのxml:langが13 dc:language と異なる。（コードの違いを考慮）
2	Alternative Title	その他のタイトル	dcterms:alternative		TRUE	MA	0-N	目次タイトル、奥付タイトル等の本タイトル以外のタイトルを記入する。	その他のタイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。各言語コードのdcterms:alternativeの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。本タイトルの別言語のタイトルはdc:title（タイトル）に記入する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。また、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dcterms:alternative xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dcterms:alternative> <dcterms:alternative xml:lang="ja-Kana">データ マイニング シセダイ サーチ ナド ノ ケンキュウ</dcterms:alternative>	複数言語の並列表記は推奨しない。 <dcterms:alternative xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dcterms:alternative> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle（収録物名）を使用する。 <dcterms:alternative xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dcterms:alternative>		dcterms:alternative			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang=jaのデータが存在しない。 ②xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	①xml:lang が存在しない。
3	Creator	作成者	jpcoar:creator		-	MA	0-N	コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。	学位論文の場合は必ず入力する。複数の著者が存在する場合は、第一著者から順に記入する。	<jpcoar:creator> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目, 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://www.isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:creator>		jpcoar:creator					①14 dc:type=thesis|bachelor thesis|master thesis|doctoral thesis のとき、要素が存在しない。		
3.1	Creator Name Identifier	作成者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	作成者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000-0001-0003-0004（ORCID）、30413925 (e-Rad)、0000000378057894（ISNI））。nameIdentifierSchemeにはID を識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URI を持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ （NRID） https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 （ORCID） http://isni.org/isni/0000000082849737 （ISNI） https://viaf.org/viaf/56614190 （VIAF））。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	jpcoar:nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="orcid" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0002-3276-3753">https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>		jpcoar:nameIdentifier			①全角 -> 半角			①nameIdentifierSchemeが存在しない。 ②nameIdentifierSchemeの語彙に存在しない。 ③nameIdentifierSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				nameIdentifier Scheme	FALSE	M	1					e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID		nameIdentifierScheme	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
				nameIdentifier URI	FALSE	MA	0-1							nameIdentifierURI		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
3.2	Creator Name	作成者姓名	jpcoar:creatorName		TRUE	MA	0-N	作成者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓,△名」（カンマ＋半角空白）とする。英語表記のファーストネームが不明な場合は頭文字でもよい。ミドルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:creatorNameの出現回数は1回までとする。肩書きや役職、補記は記入しない。監修者や指導者のような間接的な役割の者はjpcoar:contributor（寄与者）を使用する。出版者はdc:publisher（出版者）を使用する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:creatorName xml:lang="ja">夏目, 漱石</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="en">Natsume, Soseki</jpcoar:creatorName> <jpcoar:creatorName xml:lang="ja-Kana">ナツメ, ソウセキ</jpcoar:creatorName>	langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:creatorName>夏目, 漱石</jpcoar:creatorName>		jpcoar:creatorName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	①xml:lang が存在しない。
3.3	Family Name	作成者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	作成者の姓を記入する。作成者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyName>		jpcoar:familyName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	①familyNameがあって、createrNameがない。
3.4	Given Name	作成者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	作成者の名を記入する。作成者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">漱石</jpcoar:givenName>		jpcoar:givenName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	①givenNameがあって、createrNameがない。
3.5	Creator Alternative	作成者別名	jpcoar:creatorAlternative		TRUE	O	0-N	作成者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注意点はjpcoar:creatorName（作成者姓名）に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke</jpcoar:creatorAlternative> <jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ</jpcoar:creatorAlternative>		jpcoar:creatorAlternative			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:lang="ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ②xml:lang="ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	①createrAlternativeがあって、createrNameがない。

IRDB マッピング・エラーチェック・正規化ルール JPCOAR

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧													JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
3.6	Affiliation	作成者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	作成者の所属する機関名。		<jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation>			jpcoar:affiliation							
3.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000000121692178X （ISNI）、12601（kakenhi））。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi - ISNI - Ringgold - GRID。nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：http://www.isni.org/isni/0000000121691048（ISNI）https://www.grid.ac/institutes/grid.26999.3d（GRID））。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</jpcoar:nameIdentifier>			jpcoar:nameIdentifier			①全角 -> 半角			①語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照） ②nameIdentifierSchemeが存在しない。	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1					e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID		nameIdentifierScheme	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				nameIdentifierURI	FALSE	R	0-1							nameIdentifierURI		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
3.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>			jpcoar:affiliationName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録）	
4	Contributor	寄与者	jpcoar:contributor		-	R	0-N	コンテンツの作成に間接的に関わりを持つ個人または団体等。contributorTypeには適切な役割を以下の統制語彙から選択して記入する。該当する役割がない場合は、"other"を選択する。 - ContactPerson - DataCollector - DataCurator - DataManager - Distributor - Editor - HostingInstitution - Producer - ProjectLeader - ProjectManager - ProjectMember - RelatedPerson - Researcher - ResearchGroup - Sponsor - Supervisor - WorkPackageLeader - Other		<jpcoar:contributor contributorType="Editor"> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName> <jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName> <jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName> <jpcoar:affiliation> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">12601</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName> </jpcoar:affiliation> </jpcoar:contributor>			jpcoar:contributor							
				contributorType	FALSE	R	0-1					ContactPerson DataCollector DataCurator DataManager Distributor Editor HostingInstitution Producer ProjectLeader ProjectManager ProjectMember RelatedPerson Researcher ResearchGroup Sponsor Supervisor WorkPackageLeader Other		contributorType	ContactPerson DataCollector DataCurator DataManager Distributor Editor HostingInstitution Producer ProjectLeader ProjectManager ProjectMember RelatedPerson Researcher ResearchGroup Sponsor Supervisor WorkPackageLeader Other	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
4.1	Contributor Name Identifier	寄与者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	寄与者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000-0001-0003-0004（ORCID）、30413925 (e-Rad)、0000000378057894（ISNI））。nameIdentifierSchemeにはID を識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ （NRID）https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 （ORCID）http://isni.org/isni/0000000082849737 （ISNI）https://viaf.org/viaf/56614190 （VIAF））。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003">0000-0001-0002-0003</jpcoar:nameIdentifier>	nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameIdentifier>https://orcid.org/0000-0002-3276-3753</jpcoar:nameIdentifier>		jpcoar:nameIdentifier			①全角 -> 半角			①語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照） ②nameIdentifierSchemeが存在しない。	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1					e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID		nameIdentifierScheme	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				nameIdentifierURI	FALSE	MA	0-1							nameIdentifierURI		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
4.2	Contributor Name	寄与者姓名	jpcoar:contributorName		TRUE	R	0-N	寄与者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは「姓,△名」（カンマ＋半角空白）とする。英語表記のファーストネームが分からない場合は頭文字でもよい。ミドルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:contributorNameの出現回数は1回までとする。肩書きや役割、補足は記入しない。著者や翻訳者等のような直接的な役割の者はjpcoar:creator（作成者）を使用する。出版者はdc:publisher（出版者）を使用する。ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。	<jpcoar:contributorName xml:lang="ja">山田, 一郎</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorName> <jpcoar:contributorName xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロウ</jpcoar:contributorName>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:contributorName>山田, 一郎</jpcoar:contributorName>		jpcoar:contributorName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが"ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが"ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ④xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録）	①xml:lang が存在しない。
4.3	Family Name	寄与者姓	jpcoar:familyName		TRUE	O	0-N	寄与者の姓を記入する。寄与者が個人であり、姓が判別可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyName xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyName>			jpcoar:familyName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録）	①familyNameがあって、contributorNameがない。
4.4	Given Name	寄与者名	jpcoar:givenName		TRUE	O	0-N	寄与者の名を記入する。寄与者が個人であり、名が判別可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、「ミドルネーム△名」と記入する。	各言語コードのjpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenName xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenName>			jpcoar:givenName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang="ja-Kana"である。 ③xml:lang="ja-Latn"である。 ④xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録）	①givenNameがあって、contributorNameがない。
4.5	Contributor Alternative	寄与者別名	jpcoar:contributorAlternative		TRUE	O	0-N	寄与者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述方法および注意点はjpcoar:contributorName（寄与者姓名）に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	ヨミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。				jpcoar:contributorAlternative			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが"ja-Kana"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ②xml:langが"ja-Latn"のデータが存在するとき、xml:lang="ja"のデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録）	①contributorAlternativeがあって、contributorNameがない。

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧												JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
4.6	Affiliation	寄与者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	寄与者の所属する機関。					jpcoar:affiliation							
4.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	所属機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：000000012192178X （ISNI）、12601（kakenhi））。nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi - ISNI - Ringgold - GRID。nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：http://isni.org/isni/0000000121691048 （ISNI） https://www.grid.ac/institutes/grid.26999.3d （GRID））。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">12601</jpcoar:nameIdentifier>			jpcoar:nameIdentifier			①全角 -> 半角			①語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照） ②nameIdentifierSchemeが存在しない。	
				nameIdentifier Scheme	FALSE	M	1					e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID		nameIdentifierScheme	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				nameIdentifier URI	FALSE	R	0-1							nameIdentifierURI		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
4.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE	R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報はxml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までとし、部局名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテンツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入する。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:affiliationName xml:lang="en">University of Tokyo</jpcoar:affiliationName>			jpcoar:affiliationName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録）	
5	Access Rights	アクセス権	dcterms:accessRights		FALSE	MA	0-1	コンテンツのアクセス状態を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバーゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オープンアクセス - restricted access: アクセス制限有。 rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Access RightsのURIを記入する。	コンテンツのライセンスに関する情報はdc:rights（権利情報）を参照する。「embargoed access」の場合は、datacite:date（日付）のdateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	<dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">open access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_f1cf">embargoed access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_14cb">metadata only access</dcterms:accessRights> <dcterms:accessRights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_16ec">restricted access</dcterms:accessRights>		embargoed access metadata only access restricted access open access	dcterms:accessRights		embargoed access metadata only access restricted access open access	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				rdf:resource	FALSE	M	1							rdf:resource		①語彙に対応したURIを出力 (語彙別表参照)				
6	APC	APC	rioxxterms:apc		FALSE	O	0-1	オリジナルのコンテンツに関連するAPCの状態。以下の語彙から選択する。 - Paid : 支払済み - Fully waived : 全て免除 - Not required : 不要 - Partially waived : 一部免除 - Not charged : 無料 - Unknown : 不明	APCの価格は記入しない。	<rioxxterms:apc>Paid</rioxxterms:apc>	APCの価格は記入しない。 <rioxxterms:apc>$3,000</rioxxterms:apc>	Paid Partially waived Fully waived Not charged Not required Unknown	-		-	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
7	Rights	権利情報	dc:rights		TRUE	R	0-N	コンテンツの利用に関する権利情報を記入する。知的所有権や著作権等に関する情報を含む。ライセンス情報を記入する際にはライセンスの正式名とバージョン情報を記入する（例：Creative Commons Attribution 4.0 International）。その他の場合は、自由記述とするが、出版社等の権利者からの指定がある場合は、その指示に従う。ライセンスにURIがある場合、rdf:resourceにHTTP URI形式で記入し、再利用の条件を明示することを推奨する（例：https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en）。	ライセンス情報は短縮形で記入しない。各言語コードのdc:rightsの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:rights xml:lang="en" rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights> <dc:rights xml:lang="en">(c) ACM 2016. This is the author's version of the work. It is posted here for your personal use. Not for redistribution. The definitive Version of Record was published in http://doi.org/10.1145/123456789</dc:rights>	ライセンス情報を短縮形で記入しない。 <dc:rights xml:lang="en" rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">CC BY 4.0</dc:rights> ライセンス情報のURIがある場合、記入を推奨する。 <dc:rights xml:lang="en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights> 異なるライセンス情報を1要素にまとめて記入しない。ファイル単位でライセンス情報が異なる場合は、別途メタデータレコードを作成する。ファイルの分割が困難な場合は、dc:rightsを繰り返して記入する。 <dc:rights xml:lang="en">CC BY 4.0 / Copyright (c) 1997 American Physical Society</dc:rights>		dc:rights			①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録）	
				rdf:resource	FALSE	R	0-1							rdf:resource		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。	
8	Rights Holder	権利者情報	jpcoar:rightsHolder		-	R	0-N	作成者および寄与者以外の著作権等の権利保持情報を記入する。		<jpcoar:rightsHolder> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000404381592">0000000404381592 </jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName> </jpcoar:rightsHolder>			jpcoar:rightsHolder							
8.1	Rights Holder Name Identifier	権利者識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	R	0-N	権利者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：0000-0001-0003-0004（ORCID）、30413925 (e-Rad)、0000000378057894（ISNI））。nameIdentifierSchemeにはID を識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi - Ringgold - GRID。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない（例：https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ （NRID） https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 （ORCID） http://isni.org/isni/0000000082849737 （ISNI） https://viaf.org/viaf/56614190 （VIAF））。	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000404381592">0000000404381592</jpcoar:nameIdentifier>			jpcoar:nameIdentifier			①全角 -> 半角			①語彙に存在しない。 ②語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照） ③nameIdentifierSchemeが存在しない。	
				nameIdentifier Scheme	FALSE	M	1					e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID		nameIdentifierScheme	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold GRID	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
				nameIdentifier URI	FALSE	R	0-1							nameIdentifierURI		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
8.2	Rights Holder Name	権利者名	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	R	0-N	記述方法はjpcoar:creatorName（作成者姓名）に準じる。		<jpcoar:rightsHolderName xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsHolderName>			jpcoar:rightsHolderName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:lang=ja-Kanaのデータが存在するとき、xml:lang=jaのデータが存在しない。 ③xml:langが語彙に存在しない。 （xml:lang属性のみ非登録）	①xml:lang が存在しない。

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧													JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
9	Subject	主題	jpcoar:subject		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を表す件名、著者キーワード、分類を記入する。分類はコードのみを記入する。subjectSchemeは以下の語彙を使用する。 - BSH - DDC - LCC - LCSH - MeSH - NDC - NDLC - NDLSH - SciVal - UDC - Other。 subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない（例：https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00575529）。	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合subjectSchemeは"Other"を指定する。各言語コードのjpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	著者キーワードの例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="Other">情報化社会 </jpcoar:subject> ヨミ記入の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja-Kana" subjectScheme="Other">ジョウホウカ シャカイ</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectScheme="NDC">007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="NDLSH" subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/01009109">社会情報学 </jpcoar:subject>			jpcoar:subject			①全角 -> 半角（英数字のみ）（要素） ②全角 -> 半角（xml:langのみ） ③語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録） ②subjectSchemeが存在しない。 ③subjectSchemeの語彙に存在しない。 ④subjectSchemeが語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照）	
				subjectScheme	FALSE	M	1					BSH DDC LCC LCSH MeSH NDC NDLC NDLSH SciVal UDC Other		subjectScheme	BSH DDC LCC LCSH MeSH NDC NDLC NDLSH SciVal UDC Other	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
				subjectURI	FALSE	MA	0-1							subjectURI		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②語彙に対応したURIになっているかのチェック。（語彙別表参照）	
10	Description	内容記述	datacite:description		TRUE	MA	0-N	コンテンツの内容を示す情報を記述する。データについては、技術的な情報等、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。descriptionTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract"を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	datacite:descriptionを使用する場合、必ずdescriptionTypeを指定する。各言語コードのdatacite:descriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<datacite:description xml:lang="ja" descriptionType="Abstract">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 篤士, 高橋 菜奈子, 山地 一禎. システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.	descriptionTypeを省略してはならない。 <datacite:description xml:lang="ja">国立情報学研究所が提供する「共用リポジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポジトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。</datacite:description> ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 篤士, 高橋 菜奈子, 山地 一禎. システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.		datacite:description			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録） ②descriptionTypeが存在しない。 ③descriptionTypeの語彙に存在しない。	
				descriptionType	FALSE	M	1					Abstract Methods TableOfContents TechnicalInfo Other		descriptionType	Abstract Methods TableOfContents TechnicalInfo Other	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
11	Publisher	出版者	dc:publisher		TRUE	MA	0-N	コンテンツ本体を公開した主体を記入する。名称が複数言語表る場合は、コンテンツ本体と同じ言語の名称を優先する。個人名については「姓,△名」とする。肩書きは記入しない。	略称ではなく正式名称を記入する。作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。役割等の補助的な情報は記入しない。各言語コードのdc:publisherの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>	出版地は記入しない。 <dc:publisher>東京</dc:publisher> 印刷者や製本者は記入しない。 <dc:publisher>岡倉印刷</dc:publisher> 機関の変遷前名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。 <dc:publisher xml:lang="ja">日本建築学会 </dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">建築学会 </dc:publisher>		dc:publisher			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	
12	Date	日付	datacite:date		FALSE	MA	0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の 3 形式（YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY）で記入する。dateTypeは以下の統制語彙から選択してめず記入する。 - Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	Issued（発行日）がある場合は記入必須。その他の日付は関連する情報があればぜず記入する。 coar:accessRights（アクセス権）で "embargoed access"を指定した場合、dateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンバーゴ終了後の利用開始日 <datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datacite:date dateType="Issued">19-- </datacite:date>		datacite:date			①全角 -> 半角	①日付の正規化		①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙に存在しない。 ③YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ④MM-DD の妥当性チェック。（閏年含む）	①accessRights=embargoed access のとき、dateType=Available の date 要素が存在しない。
				dateType	FALSE	M	1					Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid		dateType	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
13	Language	言語	dc:language		FALSE	R	0-N	コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。国コードを記入しない。優先度の高い言語の順に記入する。	コンテンツ本文が英語 <dc:language>eng</dc:language> コンテンツ本文が英語と日本語 <dc:language>eng</dc:language> <dc:language>jpn</dc:language>	ISO 639-1は推奨しない。 <dc:language>ja</dc:language> 1要素に複数の言語を記入しない。 <dc:language>engjpn</dc:language> 大文字や全角文字を使用しない。 <dc:language>JPN</dc:language> <dc:language> e n g </dc:language> 言語名を記入しない。 <dc:language>日本語</dc:language> 国名を記入しない。 <dc:language>US</dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dc:language>en_US</dc:language>		dc:language			①全角 -> 半角 ②英大文字 -> 英小文字	①言語コードの変換		①語彙に存在しない。	
14	Resource Type	資源タイプ	dc:type		FALSE	M	1	コンテンツの種類を資源タイプ語彙別表から選択して記入する。rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Resource Type（http://vocabularies.coar-repositories.org/documentation/resource_types/）のURIを記入する。	departmental bulletin paper（紀要論文）およびarticle（記事）は、journal article（学術雑誌論文）のURIを記入する。	学術雑誌論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type> 紀要論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">departmental bulletin paper</dc:type> 博士論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_db06">doctoral thesis</dc:type> データセットの例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1">dataset </dc:type> 記事の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">article </dc:type>	rdf:resourceを省略してはならない。 <dc:type>departmental bulletin paper</dc:type>	資源タイプ語彙別表参照	dc:type		資源タイプ語彙別表参照	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換		①要素がない。 ②語彙に存在しない。（資源タイプ語彙別表参照） ③doctoral thesisのとき、NDL博士論文提出チェックへ（別掲）		
				rdf:resource	FALSE									rdf:resource		①語彙に対応したURIを出力（資源タイプ語彙別表参照）				

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧													JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
15	Version	バージョン情報	datacite:version		FALSE	O	0-1	データの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"."マイナーバージョン番号"の形式で記入する。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際には|jpcoar:relation（関連情報）に旧バージョンとの関係性を記述する。論文のバージョン情報についてはoaire:version（出版タイプ）を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>	バージョンに番号以外の文字列を記入してはならない。<datacite:version>ver 1.2</datacite:version>		datacite:version			①全角 -> 半角			①[0-9]+¥.[0-9]+以外の形式である。（[数字][ピリオド][数字]の組み合わせ以外はエラー）	
16	Version Type	出版タイプ	oaire:version		FALSE	MA	0-1	論文のバージョン情報を記入する。以下の統制語彙から選択して記入する。 - AO: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - P: Proof - VoR: Version of Record - CVoR: Corrected Version of Record - EVoR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown) rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR VersionのURIを記入する。	論文の場合、必ず記入する。データのバージョン情報については|datacite:version（バージョン情報）を使用する。	著者最終稿（査読後、最終的に出版社に受理された原稿）の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4af688f83e57aa">AM</oaire:version> 出版社版の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970fb48d4fbd8a85">VoR</oaire:version>		AO SMUR AM P VoR CVoR EVoR NA	oaire:version		AO SMUR AM P VoR CVoR EVoR NA	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	①dc:type=journal articleのとき、oaire:versionが指定されていない。
				rdf:resource	FALSE	M	1							rdf:resource		①語彙に対応したURIを出力 (語彙別表参照)				
17	Identifier	識別子	jpcoar:identifier		FALSE	MA	0-N	コンテンツを識別するユニークなIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：https://doi.org/10.18926/AMO/54590 （DOI）http://hdl.handle.net/2115/64495 （HDL）http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/54559 （URI））。identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。DOI - HDL - URI	リポジトリコンテンツの自身のIDを記入する。学術雑誌論文の出版社版等のDOIは|jpcoar:relation（関連情報）に記入する。JaLC DOIを登録する場合は、jpcoar:identifierだけではなく、jpcoar:identifierRegistration（IR登録、ID種別）に登録するDOIを"prefix/suffix"形式で記入する。datacite:identifierを記入する場合、必ずidentifierTypeを指定する。	<jpcoar:identifier identifierType="HDL">http://hdl.handle.net/2115/64495</jpcoar:identifier>			jpcoar:identifier			①全角 -> 半角			①要素がない。 ②identifierTypeが存在しない。 ③identifierTypeの語彙に存在しない。 ④URI形式チェック ⑤jpcoar:identifierRegistration があるとき、[prefix]/[suffix]が一致しない。	① jpcoar:identifier@identifierType="DOI"が存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]がjpcoar:identifierRegistrationに入力されていない。 (jpcoar:identifierRegistration要素がない場合も含む)
				identifierType	FALSE	M	1					DOI HDL URI		identifierType	DOI HDL URI	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
18	Identifier Registration	ID登録	jpcoar:identifierRegistration		FALSE	MA	0-1	JaLC等へIDを登録する場合、記入する。identifierTypeには登録するサービス（DOIの場合はRegistration Agency）を以下の統制語彙から選択して記入する。 - JaLC - Crossref - DataCite - PMID（現在不使用）	リポジトリコンテンツの自身のIDは|jpcoar:identifier（識別子）に記入する。"JaLC"または"Crossref"を選択した場合、junii2スキーマのseiIDOIに相当する。JaLCでDOIを登録する場合は、|jpcoar:identifierRegistrationにけではなく、|jpcoar:identifier（識別子）identifierType="DOI"にDOIをHTTP URI形式で記入する。|jpcoar:identifierRegistrationはJaLCとのデータ連携のためのみに使用される。	<jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">10.18926/AMO/54590</jpcoar:identifierRegistration>	URIスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">info:doi/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration> DOIのURL表記は使用してはならない。 <jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">https://doi.org/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2</jpcoar:identifierRegistration>		jpcoar:identifierRegistration			①全角 -> 半角 ②先頭の"info:doi/"、"doi:"は削除する。		①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない (語彙別表参照)。 ④jpcoar:identifierRegistartionが存在するとき、同じ[prefix]/[suffix]を持つDOIがjpcoar:identifier@identifierType="DOI"として入力されていること。(identifierType="PMID"のときを除く) ⑤identifierType="JaLC|Crossref|Data		
				identifierType	FALSE	M	1					JaLC Crossref DataCite PMID（現在不使用）		identifierType	JaLC Crossref DataCite PMID（現在不使用）	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
19	Relation	関連情報	jpcoar:relation		-	R	0-N	登録するコンテンツと関連するコンテンツ間の関連性を記入する。relationTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。該当する語彙がない場合はrelationTypeを記入しない。 - isVersionOf - hasVersion - isPartOf - hasPart - isReferencedBy - references - isFormatOf - hasFormat - isReplacedBy - replaces - isRequiredBy - requires - isSupplementTo - isSupplementedBy - isIdenticalTo - isDerivedFrom - isSourceOf	シリーズ名を有するコンテンツで、シリーズタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。コンテンツが図書の一部（章など）で、図書全体のタイトルにリンクする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。著者最終稿から出版者が付与したDOIにリンクする場合は、relationType="isVersionOf"を使用する。	学術雑誌の著者最終稿から出版社版へリンクする場合 <jpcoar:relation relationType="isVersionOf"> <jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier> </jpcoar:relation> リンク先のコンテンツに識別子がない場合 <jpcoar:relation relationType="isPartOf"> <jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中・高・大、日本人民生、外国人民生のティームティーチングによる支援 </jpcoar:relatedTitle> </jpcoar:relation>			jpcoar:relation							
				relationType	FALSE	R	0-1					isVersionOf hasVersion isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf		relationType	isVersionOf hasVersion isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧												JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 （日本語）	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
19.1	Related Identifier	関連識別子	jpcoar:relatedIdentifier		FALSE	R	0-1	関連するコンテンツの識別子を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する（例：https://doi.org/10.1594/WDCC/CCSRNIES_SRES_B2（DOI））。identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - ARK - arXiv - DOI - HDL - ICHUSHI - ISBN - J-GLOBAL - Local - PISSN - EISSN - ISSN（非推奨） - NAID - NCID - PMID - PURL - SCOPUS - URI - WOS	識別子が存在しない場合はjpcoar:relatedTitle（関連名称）を記入する。jpcoar:relatedIdentifierを記入する場合は、必須。identifierType="NCID"には収録物以外のNCIDを記入し、収録物のNCIDはjpcoar:sourceIdentifier（収録物識別子）を使用する。identifierTypeに"ISSN"を段けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合に限って使用する。	<jpcoar:relatedIdentifier identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224</jpcoar:relatedIdentifier>			jpcoar:relatedIdentifier						①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない（語彙別表参照）。	
				identifierType	FALSE	M	1					ARK arXiv DOI HDL ICHUSHI ISBN J-GLOBAL Local PISSN EISSN ISSN（非推奨） NAID NCID PMID PURL SCOPUS URI WOS		identifierType	ARK arXiv DOI HDL ICHUSHI ISBN J-GLOBAL Local PISSN EISSN ISSN（非推奨） NAID NCID PMID PURL SCOPUS URI WOS	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①identifierType=issnが指定されている。
19.2	Related Title	関連名称	jpcoar:relatedTitle		TRUE	R	0-N	関連するコンテンツのタイトルを記入する。	対象に識別子が存在する場合はjpcoar:relatedIdentifier（関連識別子）に記入する。該当する識別子が存在しない場合にのみ記入する。各言語コードのjpcoar:relatedTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:relatedTitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中高大、日本人民生、外国人民生のティームティーチングによる支援</jpcoar:relatedTitle>			jpcoar:relatedTitle			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	
20	Temporal	時間的範囲	dcterms:temporal		TRUE	O	0-N	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。所定のスキーマに従って記入することが望ましい。	各言語コードのdcterms:temporalの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dcterms:temporal xml:lang="ja">奈良時代</dcterms:temporal> <dcterms:temporal xml:lang="en">A.D. 1800 - A.D. 1850</dcterms:temporal>			dcterms:temporal			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。（xml:lang属性のみ非登録）	
21	Geo Location	位置情報	datacite:geoLocation		-	O	0-N	コンテンツを収集した、またはコンテンツの内容の空間的情報を記入する。		ボックス状の空間的範囲を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationBox> <datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox> </datacite:geoLocation> 地名を記述する例 <datacite:geoLocation> <datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace> </datacite:geoLocation>			datacite:geoLocation							
21.1	Geo Location Point	位置情報（点）	datacite:geoLocationPoint		FALSE	O	0-1	コンテンツが指す空間の一点を記入する。					datacite:geoLocationPoint						①datacite:pointLongitude、datacite:pointLatitudeが存在しない	
21.1.1	Point Longitude	経度	datacite:pointLongitude		FALSE	M	1	経度の値 。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。				datacite:pointLongitude			①全角 -> 半角			①数値であり、-180～180の範囲外である。（小数あり）	
21.1.2	Point Latitude	緯度	datacite:pointLatitude		FALSE	M	1	緯度の値 。10進数で表す。範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。				datacite:pointLatitude			①全角 -> 半角			①数値であり、-90～90の範囲外である。（小数あり）	
21.2	Geo Location Box	位置情報（空間）	datacite:geoLocationBox		FALSE	O	0-1	コンテンツが指すボックス状の空間的範囲を記入する。		<datacite:geoLocationBox> <datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:geoLocationBox>			datacite:geoLocationBox						①datacite:westBoundLongitude、datacite:eastBoundLongitude、datacite:southBoundLatitude、datacite:northBoundLatitudeが存在しない	
21.2.1	West Bound Longitude	西部経度	datacite:westBoundLongitude		FALSE	M	1	西部経度の値。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				datacite:westBoundLongitude			①全角 -> 半角			①数値であり、-180～180の範囲外である。（小数あり）	
21.2.2	East Bound Longitude	東部経度	datacite:eastBoundLongitude		FALSE	M	1	東部経度の値。10進数で表す。範囲は-180～180で、正の値は東部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				datacite:eastBoundLongitude			①全角 -> 半角			①数値であり、-180～180の範囲外である。（小数あり）	
21.2.3	South Bound Latitude	南部緯度	datacite:southBoundLatitude		FALSE	M	1	南部緯度の値。10進数で表す。範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				datacite:southBoundLatitude			①全角 -> 半角			①数値であり、-90～90の範囲外である。（小数あり）	
21.2.4	North Bound Latitude	北部緯度	datacite:northBoundLatitude		FALSE	M	1	北部緯度の値。10進数で表す。 範囲は-90～90で、正の値は北部を表す。	datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。				datacite:northBoundLatitude			①全角 -> 半角			①数値であり、-90～90の範囲外である。（小数あり）	
21.3	Geo Location Place	位置情報（自由記述）	datacite:geoLocationPlace		FALSE	O	0-N	コンテンツが指す地理上の地点の名称を記入する。		<datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace>			datacite:geoLocationPlace							

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧												JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
22	Funding Reference	助成情報	jpcoar:fundingReference		-	MA	0-N	コンテンツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用した助成金情報を記入する。		<jpcoar:fundingReference> <datacite:funderIdentifier funderIdentifierType ="Crossref Funder">https://doi.org/10.13039/501100000780</datacite:funderIdentifier> <jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName> <datacite:awardNumber awardURI="http://cordis.europa.eu/project/rcn/100603_en.html">284382</datacite:awardNumber> <jpcoar:awardTitle xml:lang="en">Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science</jpcoar:awardTitle> </jpcoar:fundingReference>			jpcoar:fundingReference						①jpcoar:funderNameが存在しない。	
22.1	Funder Identifier	助成機関識別子	datacite:funderIdentifier		FALSE	MA	0-1	助成主体の永続的な識別子をHTTP URI形式で記入する。funderIdentifierTypeは以下の統制語彙から選択して記入する。 - Crossref Funder - GRID - ISNI - Other	Crossref Funder IDの使用を推奨する。Crossref Funder IDがない場合に限り、その他の識別子を記入する。	<datacite:funderIdentifier funderIdentifierType ="Crossref Funder">https://doi.org/10.13039/501100000780</datacite:funderIdentifier>			datacite:funderIdentifier			①全角 -> 半角			①URI形式チェック。 ②funderIdentifierTypeが存在しない。 ③funderIdentifierTypeの語彙に存在しない。	
				funderIdentifierType	FALSE	M	1					ISNI GRID Crossref Funder Other		funderIdentifierType	ISNI GRID Crossref Funder Other	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
22.2	Funder Name	助成機関名	jpcoar:funderName		TRUE	M	1-N	助成機関等、助成を行った主体の名称を記入する。	jpcoar:fundingReferenceを記入する場合は、必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:funderNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:funderName xml:lang="en">European Commission</jpcoar:funderName>			jpcoar:funderName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
22.3	Award Number	研究課題番号	datacite:awardNumber		FALSE	MA	0-1	研究課題番号を文字列で記入する。記述方法は助成団体による（例：15H02781（科研費））。awardURIは、助成団体が提供している当該の助成に関する詳細情報をHTTP URI形式で記入する。科研費の場合は、KAKENデータベースの該当するページのURLを記入する。		<datacite:awardNumber awardURI="http://cordis.europa.eu/project/rcn/100603_en.html">284382</datacite:awardNumber>			datacite:awardNumber							
				awardURI	FALSE	MA	0-1							awardURI		①全角 -> 半角			①URI形式チェック。	
22.4	Award Title	研究課題名	jpcoar:awardTitle		TRUE	MA	0-N	研究課題名を文字列で記入する。	各言語コードのjpcoar:awardTitleの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:awardTitle xml:lang="en">Institutionalizing global genetic-resource commons. Global Strategies for accessing and using essential public knowledge assets in the life science</jpcoar:awardTitle>			jpcoar:awardTitle			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
23	Source Identifier	収録物識別子	jpcoar:sourceIdentifier		FALSE	MA	0-N	収録物に付与された識別子を記入する。記述方法は選択した識別子に依存する。identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - PISSN - EISSN - ISSN（非推奨） - NCID	ISSN、NCIDがある場合は必ず記入する。収録物以外のNCIDはjpcoar:relatedIdentifier（関連識別子）を使用する。juni2下位互換用の語彙として'identifierType に"ISSN"を設けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合に限って使用する。	<jpcoar:sourceIdentifier identifierType="PISSN">1234-5678</jpcoar:sourceIdentifier> <jpcoar:sourceIdentifier identifierType="NCID">AN12345678</jpcoar:sourceIdentifier>			jpcoar:sourceIdentifier			①全角 -> 半角 ②identifierType=[P|E]?ISSNのとき、ハイフン統一			①identifierTypeが存在しない。 ②identifierTypeの語彙に存在しない。 ③identifierTypeの語彙別のフォーマットを満たしていない (語彙別表参照)。	
				identifierType	FALSE	M	1					PISSN EISSN ISSN（非推奨） NCID		identifierType	PISSN EISSN ISSN（非推奨） NCID	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				①identifierType=issnが指定されている。
24	Source Title	収録物名	jpcoar:sourceTitle		TRUE	MA	0-N	コンテンツの収録物のタイトルを記入する。	日本語雑誌名で和文、欧文コンテンツが混在する場合は、本文の言語に応じて雑誌名を表記することが望ましい。タイトルが複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのtitleの出現回数は1回までとする。言語表記ごとの繰り返しにする場合は、優先度の高い言語表記の順に記入する。	<jpcoar:sourceTitle xml:lang="ja">看護総合科学研究会誌</jpcoar:sourceTitle> <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Journal of Comprehensive Nursing Research</jpcoar:sourceTitle>	収録物名の略称は推奨しない。 <jpcoar:sourceTitle xml:lang="en">Annu Rev Biochem</jpcoar:sourceTitle>		jpcoar:sourceTitle			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
25	Volume Number	巻	jpcoar:volume		FALSE	MA	0-1	収録物の巻レベルを記入する。単位を表す語句（「巻」、「vol」、「号」、「年」など）は記入しない。巻号と通号の両者が存在する場合は、巻号を採用する。	号または通号のみをもつ場合は、巻レベルとし、jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記する。	<jpcoar:volume>1</jpcoar:volume>			jpcoar:volume			①全角->半角 (英数字記号「_-.,;()/」のみ)			①1-32文字までのチェック。	
26	Issue Number	号	jpcoar:issue		FALSE	MA	0-1	収録物の号レベルを記入する。単位を表す語句（「号」、「issue」など）は削除する。	号または通号のみをもつ場合は、巻レベルとし、jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換できない場合は、そのまま転記する。号レベルより下位のレベルが存在する場合でも（例えばvolume3、issue2、part1 等の場合）、その下位レベルについては記入しない。	<jpcoar:issue>1</jpcoar:issue>			jpcoar:issue			①全角->半角 (英数字記号「_-.,;()/」のみ)	①volumeがなく、issueがあるとき、issueをvolumeに移動する。		①1-32文字までのチェック。	
27	Number of Pages	ページ数	jpcoar:numPages		FALSE	MA	0-1	コンテンツの総ページ数を記入する。		<jpcoar:numPages>12</jpcoar:numPages>			jpcoar:numPages			①全角->半角 (英数字記号「_-.,;()/」のみ)			①1-100文字までのチェック。	
28	Page Start	開始ページ	jpcoar:pageStart		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物中における開始ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageEndにも同様の値を記入する。巻（volume）の通ページと、号（issue）ごとのページの両方が存在する場合は、巻（volume）の通ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:pageStart>1</jpcoar:pageStart>			jpcoar:pageStart			①全角->半角 (英数字記号「_-.,;()/」のみ)			①1-100文字までのチェック。	
29	Page End	終了ページ	jpcoar:pageEnd		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物中における終了ページを記入する。開始ページと終了ページが同じ場合は、jpcoar:pageStartと同様の値を記入する。巻（volume）の通ページと、号（issue）ごとのページの両方が存在する場合は、巻（volume）の通ページを記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:pageEnd>12</jpcoar:pageEnd>			jpcoar:pageEnd			①全角->半角 (英数字記号「_-.,;()/」のみ)			①1-100文字までのチェック。	

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧													JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
30	Dissertation Number	学位授与番号	dcndl:dissertationNumber		FALSE	MA	0-1	学位授与番号を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。学博士論文の場合は、学位記番号ではなく報告番号を記入する。	<dcndl:dissertationNumber>甲第5384号 </dcndl:dissertationNumber>	科研費機関番号（数字5桁）+[甲>A｜乙>B｜他>Z]+報告番号の形式（junii2 ver 3.0）は推奨しない。 <dcndl:dissertationNumber>15301A5384</dcndl:dissertationNumber> 科研費機関番号（数字5 桁）+[甲|乙|]+第+報告番号+号の形式（junii2 ver 3.1）は推奨しない。 <dcndl:dissertationNumber>15301甲第5384号 </dcndl:dissertationNumber>		dcndl:dissertationNumber			①全角 -> 半角				
31	Degree Name	学位名	dcndl:degreeName		TRUE	MA	0-N	学位規則で定められている学位の種別と学位の分野を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。国際流通を鑑み、英語名称を合わせて記入することを推奨する。各言語コードのdcndl:degreeNameの出現回数は1回までとする。	<dcndl:degreeName xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dcndl:degreeName> <dcndl:degreeName xml:lang="ja">博士（文学） </dcndl:degreeName>			dcndl:degreeName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
32	Date Granted	学位授与年月日	dcndl:dateGranted		FALSE	MA	0-1	学位授与年月日を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の3 形式（YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY）で記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。	<dcndl:dateGranted>2016-03-25</dcndl:dateGranted>			dcndl:dateGranted			①全角 -> 半角	①日付の正規化		①YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ②MM-DD の妥当性チェック。（閏年含む）	
33	Degree Grantor	学位授与機関	jpcoar:degreeGrantor		-	MA	0-N	学位授与機関の情報を記入する。	共同大学院の場合は、学生の籍がある大学を最初に記入し、繰り返して記入する。	<jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学 </jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">早稲田大学 </jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>	共同大学院をひとつのjpcoar:degreeGrantorに記入することは推奨しない。 <jpcoar:degreeGrantor> <jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">3265332689</jpcoar:nameIdentifier> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">東京女子医科大学早稲田大学 </jpcoar:degreeGrantorName> </jpcoar:degreeGrantor>		jpcoar:degreeGrantor							
33.1	Degree Grantor Name Identifier	学位授与機関識別子	jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N	学位授与機関を一意に識別する科研費機関番号を記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は、学位授与機関の科研費機関番号の記入が必須。	<jpcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameIdentifier>		e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	jpcoar:nameIdentifier			①全角 -> 半角			①語彙別のフォーマットを満たしていない。（語彙別表参照） ②nameIdentifierSchemeが存在しない。	
				nameIdentifierScheme	FALSE	M	1							nameIdentifierScheme	e-Rad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold GRID	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
33.2	Degree Grantor Name	学位授与機関名	jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	0-N	学位授与機関の名称を記入する。学位授与機関名の言語情報はxml:langに記入する。	学位規則改正（2013年4月1日）以降に授与された博士論文を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入する。各言語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="ja">岡山大学 </jpcoar:degreeGrantorName> <jpcoar:degreeGrantorName xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreeGrantorName>			jpcoar:degreeGrantorName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
34	Conference	会議記述	jpcoar:conference		-	R	0-N	会議情報を記入する。		<jpcoar:conference> <jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName> <jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence> <jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> <jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue> <jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace> <jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry> </jpcoar:conference>			jpcoar:conference							
34.1	Conference Name	会議名	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	0-N	会議名を記入する。	各言語コードのjpcoar:conferenceNameの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceName xml:lang="en">RDA Seventh Plenary Meeting</jpcoar:conferenceName>			jpcoar:conferenceName			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
34.2	Conference Sequence	回次	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	0-1	会議の回次を記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:conferenceSequence>7</jpcoar:conferenceSequence>			jpcoar:conferenceSequence							
34.3 (ver.1.0 .2のみ)		主催機関	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	0-N	会議を主催する機関名を記入する。	会議の開催会場はjpcoar:conferenceVenueに記入する。 各言語コードのjpcoar:conferenceSponsorの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceSponsor xml:lang="en">The Research Data Alliance</jpcoar:conferenceSponsor>			jpcoar:conferenceSponsor			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
34.4 (ver.1.0 .2のみ)		開催期間	jpcoar:conferenceDate		TRUE	R	0-1	会議の開催期間について、開始年月日および終了年月日を年（YYYY）、月（MM）、日（DD）の形式で各属性に、表示用の開催期間を値に記入する。 機械可読可能な日付（属性）と表示用の開催期間（値）の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報しかない場合は一方のみを記入する。	会議の開催が1日のみの場合は、属性のstartDayとendDayに同一の日を記入する。	<jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate> 値または属性のいずれかのみの場合 <jpcoar:conferenceDate startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016" /> <jpcoar:conferenceDate xml:lang="en">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferenceDate>			jpcoar:conferenceDate			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録) ②属性がフォーマット（YYYY、MM、DD）を満たしていない	
				startDay	FALSE	MA	0-1							startDay						
				startMonth	FALSE	MA	0-1							startMonth						
				startYear	FALSE	MA	0-1							startYear						
				endDay	FALSE	MA	0-1							endDay						
				endMonth	FALSE	MA	0-1							endMonth						
				endYear	FALSE	MA	0-1							endYear						
34.5 (ver.1.0 .2のみ)		開催会場	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	0-N	会議が開催された会場を記入する。	会議の主催機関はjpcoar:conferenceSponsorに記入する。 各言語コードのjpcoar:conferenceVenueの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferenceVenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferenceVenue>			jpcoar:conferenceVenue			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
34.6	Conference Place	開催地	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	0-N	会議の開催地を記入する。	会議の開催国はjpcoar:conferenceCountryに記入する。 各言語コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回までとする。	<jpcoar:conferencePlace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferencePlace>			jpcoar:conferencePlace			①全角 -> 半角（xml:langのみ） ②語彙に合わせた大文字小文字の変換（xml:langのみ）	①言語コードの変換（xml:langのみ）		①xml:langが重複している。 ②xml:langが語彙に存在しない。 (xml:lang属性のみ非登録)	
34.7	Conference Country	開催国	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	0-1	会議の開催国を記入する。ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。	<jpcoar:conferenceCountry>JPN</jpcoar:conferenceCountry>			jpcoar:conferenceCountry			①全角 -> 半角 ②英小文字 -> 英大文字			①ISO 3166-1 alpha-3形式になっていない。（語彙に存在しない）	

JPCOARスキーマ ver1.0.x 項目一覧												JPCOARスキーマver.2.0へのマッピング			正規化		エラーチェック		
No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lang	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	要素名	属性	語彙	正規化msgなし	正規化msgあり	レコードエラー	項目エラー	ワーニング
35	File	ファイル情報	jpcoar:file		-	MA	0-N	コンテンツ本体に関する情報。		<jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf" >http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar:files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <jpcoar:extent>15 pages</jpcoar:extent> <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> </jpcoar:file> <jpcoar:file> <jpcoar:URI objectType="other" label="supplimental data" >http://xxx.xxx.xxx/xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType> <jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent> <datacite:date dateType="Created">2016-01-01</datacite:date> <datacite:version>1.2</datacite:version> </jpcoar:file>			jpcoar:file							
35.1	URI	本文URL	jpcoar:URI		FALSE	MA	0-1	コンテンツ本体ファイルのURIを記入する。objectTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。- abstract - dataset - summary - fulltext - software - thumbnail - other labelはファイル名がある場合、記入する。	objectTypeはURIがある場合は必須。博士論文の場合、要約はsummary、要旨はabstractを使用する。 論文に付随する補足データ等はdatasetを使用する。	<jpcoar:URI objectType="fulltext" label="70_5_331.pdf">http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/jpcoar:files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf </jpcoar:URI> <jpcoar:URI objectType="dataset" label="supplemental data">http://xxx.xxx.xxx/xxx/researchdata.zip</jpcoar:URI>			jpcoar:URI			①全角 -> 半角			①URI形式チェック。	
				objectType	FALSE	MA	0-1					abstract dataset (ver.1.0.2のみ) fulltext software (ver.1.0.2のみ) summary thumbnail other		objectType	abstract dataset fulltext software summary thumbnail other	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換			①語彙に存在しない。	
				label	FALSE	O	0-1							label						
35.2	Format	フォーマット	jpcoar:mimeType		FALSE	R	0-1	コンテンツのファイル形式を記入する。IANA に登録されている MIME メディアタイプから選択することを推奨する。	コンテンツの種類はdc:type（資源タイプ）を使用する。コンテンツの分量はjpcoar:extent（サイズ）を使用する。	<jpcoar:mimeType>application/pdf</jpcoar:mimeType> <jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType>	MIMEメディアタイプ以外の形式で記入してはならない。 <jpcoar:mimeType>pdf</jpcoar:mimeType>		jpcoar:mimeType			①全角 -> 半角			①MIME Typeの形式チェック (英数字、"-"、"."、"+"、"_"、"/"のみ。先頭と末尾以外に1つ以上の"/"。)	
35.3	Extent	サイズ	jpcoar:extent		FALSE	O	0-N	ファイルサイズ、分量等の情報を記入する。自由記述。但し数値はアラビア数字を半角で記入する。	論文の開始ページはjpcoar:pageStart（開始ページ）、終了ページはjpcoar:pageEnd（終了ページ）を利用する。	<jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent>			jpcoar:extent							
35.4	Date	日付	datacite:date		FALSE	MA	0-N	個別ファイルに関連する日付を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の 3 形式（YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY）で記入する。dateTypeには以下の統制語彙から選択して必ず記入する。- Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid					datacite:date			①全角 -> 半角	①日付の正規化		①dateTypeが存在しない。 ②dateTypeの語彙に存在しない。 ③YYYY-MM-DD, YYYY-MM, YYYY形式であるかのチェック。 ④MM-DD の妥当性チェック。（閏年含む）	
				dateType	FALSE	M	1		dcterms:accessRights（アクセス権）で "embargoed access"を指定し、コンテンツ本体の単位でエンバーゴ期間が異なる場合、dateTypeに"Available"を指定し、利用開始日を記入する。	発行日 <datacite:date dateType="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンバーゴ終了後の利用開始日 <datacite:date dateType="Available">2016-01-01</datacite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datacite:date dateType="Issued">19--</datacite:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid		dateType	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated Valid	①全角 -> 半角 ②語彙に合わせた大文字小文字の変換				
35.5	Version	バージョン情報	datacite:version		FALSE	O	0-1	データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号"."マイナーバージョン番号"の形式で記入する。	データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合は、記入が望ましい。メジャーバージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation（関連情報）に旧バージョンとの関係性を記述する。コンテンツ全体のバージョン情報についてはdatacite:version（バージョン情報）またはoaire:version（出版タイプ）を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>			datacite:version			①全角 -> 半角			①[0-9]+¥.[0-9]+の形式以外である。（[数字][ピリオド][数字]の組み合わせ以外はエラー）	